

アップライトピアノ用 防音パネル解説書

この度は、アップライトピアノ用 防音パネルをお買いあげ頂きまして、ありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みいただき、正しく取り付けてご使用ください。
設置が正しく完了していない場合は、効果が最大限に発揮されない場合がございますのでご注意ください。

■梱包内容について

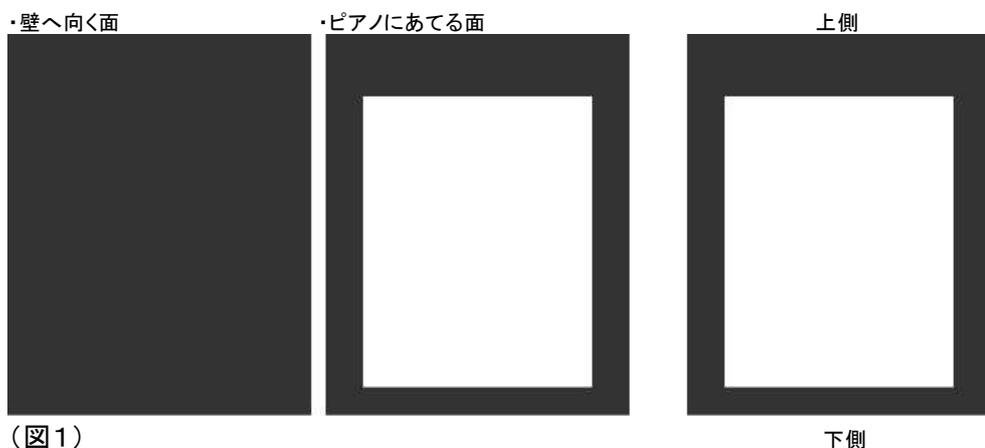
まずは、梱包内容のご確認と商品の状態のご確認をお願い致します。

- 1: 本体/防音パネル×2枚
- 2: 背面用スポンジ(白色)×4個
- 3: 床面用スポンジ(黒色)×2個
- 4: 取扱説明書

大きな凹みなど異常が無いが、また
梱包内容に不足が無いが、確認をお願い致
します。

■パネルの表裏について

パネルには表裏がございますので設置前にご確認いただき、お間違えの無いようご注意ください。



黒色の面は、設置時に壁側に向
きます。また、白い布が見える側
は、ピアノの背面にあてる面です。

※上下については、上下の縁が
均等に作られている時は、上下
関係なくご使用頂けます。

■取り付けの準備について I

正しく設置頂くために、ピアノの設置状況の確認とパネルを設置頂く準備が必要となります。

ピアノの設置状況①: ピアノと壁の間隔をご確認ください。

間隔が狭いと、パネルを滑り込ませることが困難です。
また、パネルと壁の間にクッションを挟みピアノの背面へパネルを押しつけるように設置
致しますので、クッションを挟める程度の隙間が必要です。
壁からピアノの背面までの距離は7cm前後がベストです。

ピアノの設置状況②: ピアノの背面下側をご確認ください。

もし、敷き板やインシュレータがピアノの背面よりも後ろに出ている時は、設置時パネルが干
渉し(当たり)、床に対して垂直にパネルを立てることが出来なくなります。

一般的には、床(フローリング)の場合はお皿のような形のインシュレータを使用し、ピアノの
キャスターをこのお皿にのせます。

また、畳や毛の深い絨毯などの場合は、敷き板という板状の物を左右また前輪後輪が乗るよ
うに使用致しております。

後の「パネルの準備」にございます通り、干渉する場合はパネルを床から浮かした状態に
しなければなりませんので、事前確認が必要です。

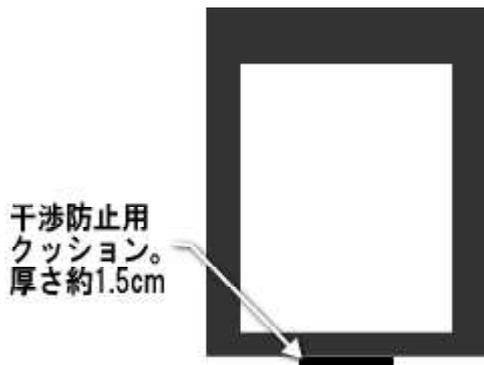
ピアノの設置状況③: ピアノ設置の環境についてご確認ください。

パネルは2枚で構成されており、一枚が約75cmの横幅になります。

ピアノの背面へ滑り込ませる場合、ピアノの左右何れかに80cmほどのスペースが無ければ
設置作業が困難です。事前にスペースを確保ください。

■取り付けの準備についてⅡ

先の項目「ピアノの設置状況②」で、ピアノの背面下側からインシュレータや敷き板が出ていてパネル設置時に干渉すると思われる場合に、こちらの準備をお願い致します。



パネルを床から数センチ浮かせます。
梱包内容についての「3:床面用スポンジ(黒色)×2つ」を使用致します。

ご利用頂く専用のクッションは、両面テープが付いております。

パネル下側(底になる部分)の中央付近に貼り付けます。

※画像では上下の縁の幅が異なりますが、同じくらいの幅で作られている場合は、上下関係なくご使用頂けます。

(図2)

※スポンジの厚みは約1.5cmですので、背面下側にはみ出している部分が1.5cmを超える場合は市販の堅めのスポンジをお求め頂き併用ください。

■防音パネルの設置

1: 図3の様に、ピアノの背面へパネルを滑り込ませます。

ピアノ背面下側にはみ出ているインシュレータや敷き板にぶつからないよう、少しパネルを持ち上げた状態で1枚ずつ滑り込ませてください。(低部の黒いスポンジが剥がれないようにご注意ください。)

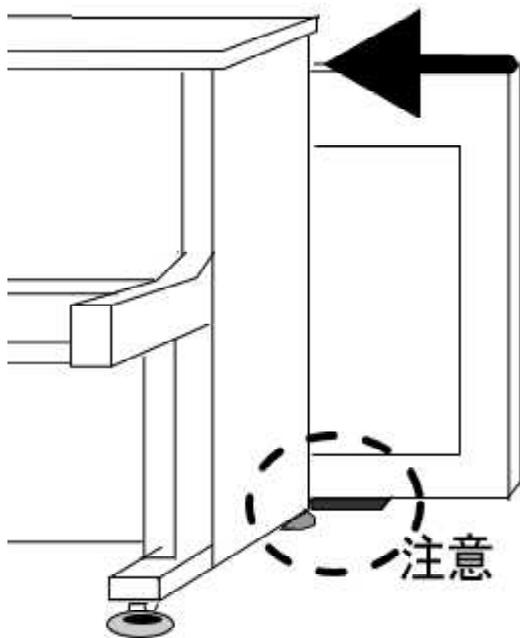
2: 2枚のパネルに隙間が無い確認。

ピアノの背面へ2枚のパネルを滑り込ませた後、左右のパネルの間に隙間が出ないように調整ください。隙間があると、音が漏れて効果が得られませんのでご注意ください。

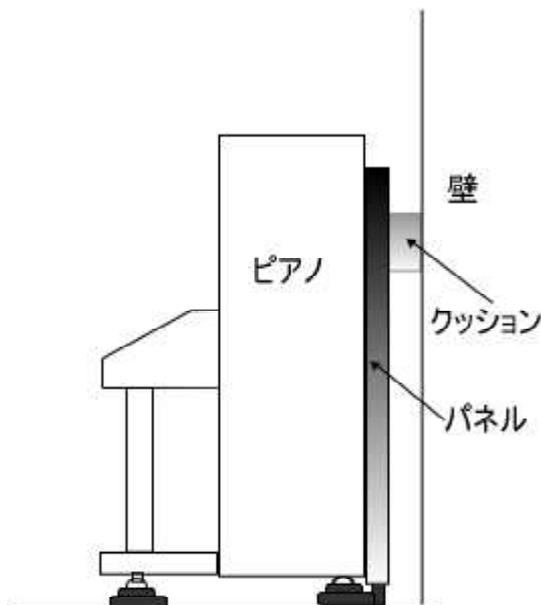
3: ピアノの背面へパネルを押し当てます。

図4の様に、パネルと壁の間に「梱包内容2:背面用スポンジ(白色)×4つ」を左右のパネルへ均等に差し入れてください。

※弾力が不足していて、パネルがしっかりピアノの背面へ押さえつけられない場合は、二つ折りにしてご利用ください。



(図3)



(図4)

完了です。

ご不明な点などございましたらお問い合わせください。

株式会社 福山楽器センター TEL:084-924-5331

■営業:10:00~20:00 ■定休日:木曜日